

重点課題名 : ④これからの基盤整備

- 検討項目
1. 生産基盤整備の進め方
 2. 農業水利施設の維持

生産基盤整備の進め方

- 担い手のニーズを踏まえた「経営計画」に基づく「生産基盤整備計画」について、地域全体の合意形成を推進
- 担い手が、地域の特色を活かした農業経営を展開するため、きめ細かな生産基盤整備を推進

【現状】

- 厳しい農業情勢の中、生産基盤の整備は鈍化傾向
- 生産基盤が未整備な地域は、経営が成り立たない小規模な農家が大半

ほ場整備の実施状況

	H3～H7 (5ヵ年)	H8～H12 (5ヵ年)	H13～H16 (4ヵ年)	H17～H21 (5ヵ年)
整備面積(期間)	891ha	473ha	248ha	281ha
年平均整備面積	178.2ha	94.6ha	62.0ha	56.2ha
整備面積(累計)	6,468ha	6,941ha	7,189ha	7,470ha

※土地改良課調べ

ため池整備の実施状況

	H3～H7 (5ヵ年)	H8～H12 (5ヵ年)	H13～H16 (4ヵ年)	H17～H21 (5ヵ年)
整備箇所(期間)	404箇所	382箇所	280箇所	209箇所
年平均整備箇所	81箇所	76箇所	70箇所	42箇所
整備箇所(累計)	2,394箇所	2,776箇所	3,056箇所	3,265箇所

※土地改良課調べ

【課題】

- 将来を展望した担い手の形態や「経営計画」に基づき策定した「生産基盤整備計画」について、地域全体の合意形成が必要
- 担い手が、特色ある農業経営を展開することが可能なきめ細かな生産基盤整備が必要

【対応方向のイメージ】

★地域全体の合意に基づき、担い手のニーズに沿った農業経営が展開できるよう、各種事業を組み合わせたきめ細かな生産基盤整備を推進

【合意形成】

- 地域ぐるみで、地域農業の核となる担い手を確保・育成するとともに、地域の特色を活かした新たな「経営計画(集落営農マスタープラン)」を策定
- 担い手のニーズを踏まえた「経営計画」を実現するために、地域全体の合意形成を得て、きめ細かな「生産基盤整備計画」を策定

【きめ細かな生産基盤整備】

- 〈ため池整備の推進〉
 - 農業用水の安定確保や効率的な利用、さらには地域の安全・安心を確保するため、老朽ため池の計画的な整備を推進
- 〈用排水路整備の推進〉
 - 農産物の品質や収量の向上、用水管理労力節減のため、排水対策やパイプライン化を推進
- 〈ほ場整備の推進〉
 - 多様な担い手の確保・育成と、経営規模の拡大や土地利用率の向上を図るため、ほ場整備を推進

ほ場整備実施後の担い手への利用集積状況(H21年度完了の3地区)

	農用地面積	集積面積	集積率
実施前	245.8ha	6.5ha	2.6%
実施後	197.2ha	110.6ha	56.1%

※土地改良課調べ

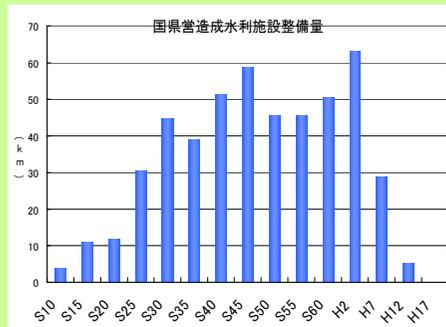
- 〈中山間地域の総合的な整備の推進〉
 - 気象条件など地域の特色を活かした高収益型農業が展開できるよう、きめ細かな生産基盤整備を推進

農業水利施設の維持

- 農業を次世代に引き継ぐため、老朽化により機能が低下した農業水利施設の計画的・効率的な保全対策を推進
- 農業者や土地改良区、行政のほか、地域住民の理解と役割分担のもと、農業水利施設を良好な状態で保管理する体制を拡充

【現状】

- 多くの農業水利施設は、整備後、約半世紀が経過。老朽化による機能低下が発生



基幹的農業水利施設
597km

年度	H19	H20	H21
保全対策延長(km)	1	2	10

- 土地改良区の管理体制が脆弱化し、適切な保管理が困難
- 都市化、混住化の進展に伴い、農業水利施設を地域全体で保管理する機運が低下し、農業者の負担が増加
 - ・地域ぐるみでの共同活動に取り組む農地・水・環境保全向上対策を平成19年度から実施

	H19	H21	増減率
活動組織	171	217	127%
取組面積(ha)	6,666	7,819	117%

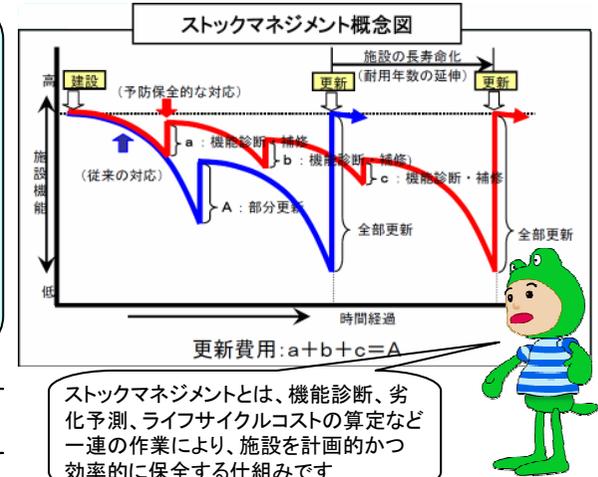
【課題】

- 農業を振興し、次世代に引き継ぐためには、農業生産に不可欠な農業水利施設の保全対策が必要
- 農業水利施設を保管理する土地改良区への支援が必要
- 多面的機能を有する農業水利施設について、農業者のみならず、地域の多様な主体が参画する保管理体制の拡充が必要

【対応方向のイメージ】

- ＜農業水利施設保全対策の推進＞
- 農業用水の安定確保や効率的な利用、維持管理経費の節減を図るため、老朽化した農業水利施設の計画的・効率的な保全対策を推進

ハード・ソフト両面からの
農業水利施設の維持



ストックマネジメントとは、機能診断、劣化予測、ライフサイクルコストの算定など一連の作業により、施設を計画的かつ効率的に保全する仕組みです

＜施設管理者への支援＞

- 土地改良区の組織の活性化や運営基盤の強化を図るため、土地改良区の事務統合や合併を推進

＜保管理体制の体制を拡充＞

- 農業者のみならず、地域の多様な主体が参画し、地域自らの創意工夫により、農業水利施設の保管理に取組む体制を拡充

- ・農地や農業用施設等の地域資源を保全する共同活動を推進
- ・香川用水など基幹的農業水利施設の保管理体制を構築
 - ・多面的機能を楽しんでいる地域住民などを含めた新たな保管理体制を構築



地域ぐるみでの「いでざらい」と「ため池の草刈」